

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ツバサプラス		
○保護者評価実施期間	令和7年1月4日	～	令和7年1月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	令和7年1月4日	～	令和7年1月11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・本人支援の5領域の支援内容に関わる多様な活動プログラムを提供できていること。	・スタッフの持ち味を活かして、担当の活動プログラムを決定し、活動プログラムごとの年間計画を担当者が作成し、ミーティングで共有している。 ・1回の活動ごとに、担当がねらいと活動内容や方法について明らかにしたものを週支援計画に掲載し共有している。 ・また、実施記録を1回ずつ作成し、ミーティングで成果と課題を共有している。	・子ども達の困り感やニーズに適応した新たな活動プログラムの開発を行う。
2	・気付いた仕事を率先してしたり、手が回っていない仕事を周りのスタッフがカバーして行ったりしてできていること。	・連絡帳、実績記録、おやつ、それぞれの1日ごとの担当者を明確にしたり、毎日、各スタッフが担当する利用者の個別支援分担を明確にしたりして取り組んでいる。 ・上記仕事分担を週支援計画に掲載し、スタッフ間で共有している。	・仕事の効率UPのための取り組み
3	・ツバサプラスが提供する支援や活動プログラムに満足していただいている利用者がほとんどであること。	・合同秋祭りや運動会など、子ども達が参加したくなるイベントや活動プログラムを提供している。 ・スタッフ一人ひとりが、子ども達に寄り添った支援や、個別支援の計画、準備、実施、振り返りができ、改善に活かしている。	・就労に向けての取り組みを強化する。具体的には、長期休業日を活用して、様々な職種の職場体験ができるような仕組みをつくる。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・児童・生徒一人ひとりの困り感を客観的なデータをもとに把握するための適切なアセスメントを見つけ実施すること。	・困り感を把握するための適切なアセスメントについての認識不足	・当面、実績記録で使用している業者が提供しているアセスメントを活用する。
2	・児童・生徒一人ひとりの困り感を軽減するための具体的方策を図ったり、個別支援計画書の短期目標や長期目標の達成に向け具現化を図ったりすること。	・困り感を軽減する具体的方策についての認識不足	・困り感の把握や困り感を軽減する具体的方策について認識を高める研修を行う。 ・個別支援担当者だけに任せるのではなく、ミーティングや研修の機会を通して、スタッフ全員、チームとなって、一人一人の困り感を軽減する具体的方策や、個別支援計画書の短期目標や長期目標の達成に向け具現化について論議し共有する。
3	・保護者会を開催したり、家族支援の機会を積極的に設け、事業所での取り組みや支援の実際について保護者に理解してもらおうこと。	・保護者会の開催準備の煩雑さや、家族支援の機会設定日時を調整することの難しさ	・当面、イベント開催と組み合わせた形で、保護者交流や保護者会開催に向けて取り組む。